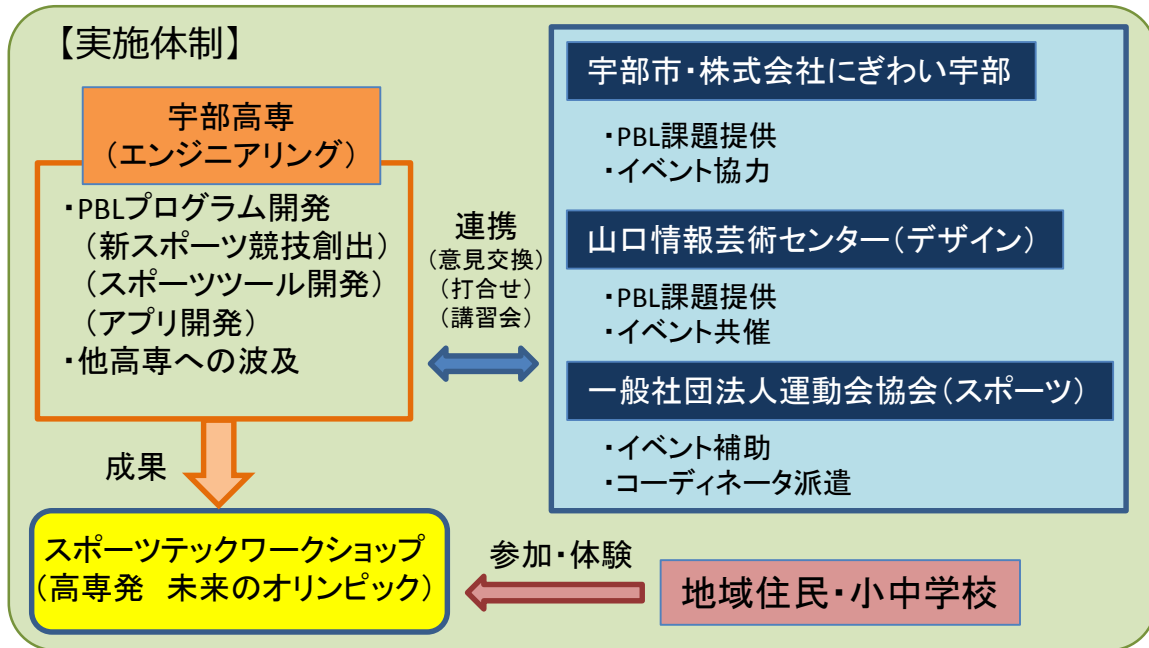




【取組の目的、内容】

- 目的：高専の**工学技術とスポーツを融合したデザインエンジニアリング活動**を通して，分野横断的能力と，高い創造性を兼ね備えた問題解決能力を有する人材の育成を行い，**KOSEN-スポーツ**の創出と確立に繋げる。
- 内容：工学技術を利用した次世代型のスポーツツール開発と新競技を創出するためのアイデアソンやハッカソン，実験等も含めた創造活動を基盤としたPBLプログラムとその実施環境を構築すると同時に，近隣自治体等とのスポーツテックワークショップを通してその成果を広く発信し，**高専独自のオリンピック・ムーブメント**を睨んだ広報体制を整える。また，継続してプログラムを実施するため他機関との関係強化と**次世代スポーツやご当地スポーツの創出**に繋げる。

【実施体制】



【工程表】

	PBL型演習	地域との連携	広報
H30年7～	・課題発見	・イベントの企画（自治体） ・コーディネータ招聘	・HP及びコミュニティFM活用の事業紹介
H30年10～	・既存ツールを活用した新競技創出 ・新規スポーツツール開発 ・ICTアプリ開発	・新運動会の開催（本校、自治体や小・中学校） ・スポーツツールやアプリの出展（本校や自治体）	・パンフレットの作成 ・近隣地域や小・中学校へパンフレット配布
H31年2～	・開発した新たな競技とツールの評価 ・PBLプログラムの評価と修正	・次年度に向け企画等の修正（自治体、運動会協会）	・事業成果報告会実施 ・PBLプログラムの他高専への展開

【成果指標】

- 開発したスポーツツールの数：0個（H29以前）→3個（H30）
- 創出した競技数：0種目（H29以前）→3種目（H30）
- PBLプログラム参加学生数：10名×3グループ（H30）

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- KOSEN-スポーツ**として全国へ発信することで**高専の認知度**をさらに高め，日本高専学会等と連携して全国高専へ展開する。また，各高専独自の**ご当地スポーツ**を開発することで各高専の地域貢献を促進し，最終的には**国民の健康・スポーツ志向**に寄与する。